

2019 川崎港トライアスロン in 東扇島大会

オペレーションマニュアル 【スイム】

【TO用】

第2.0版

作成者	T. Inada
作成日	2019年9月24日
最終更新日	2019年9月30日

目次

2019 川崎港トライアスロン in 東扇島大会.....	1
目次.....	2
体制.....	3
1. T0・ボランティア一覧.....	3
会場・コース.....	4
1. スタッフ配置図.....	4
2. コース設営図.....	5
業務詳細・留意事項.....	6
1. 共通事項.....	6
2. 業務別詳細および留意点.....	6
3. 救護を要する選手の対応.....	7
4. 制限時刻対応.....	エラー! ブックマークが定義されていません。

■略語一覧

T0	テクニカル・オフィシャル（審判員）

体制

1. T0・ボランティア一覧

チーフ T0 / サブチーフ T0 一覧

名前	ポジション	役割	連絡先
稲田 隆俊	チーフ	サブチーフ補佐	080-5538-1539
鈴木 陽輔	サブチーフ	水上監視 (IRB 乗船) ※要水着	
榊 幸喜	サブチーフ	全体統括 ※要水着、ボランティアお迎え、 業務終了後引き渡し→亀山 T L 競技・コース説明、注意事項	トラメガ、スタートホーン、スタートリスト

T0 一覧および担当エリア

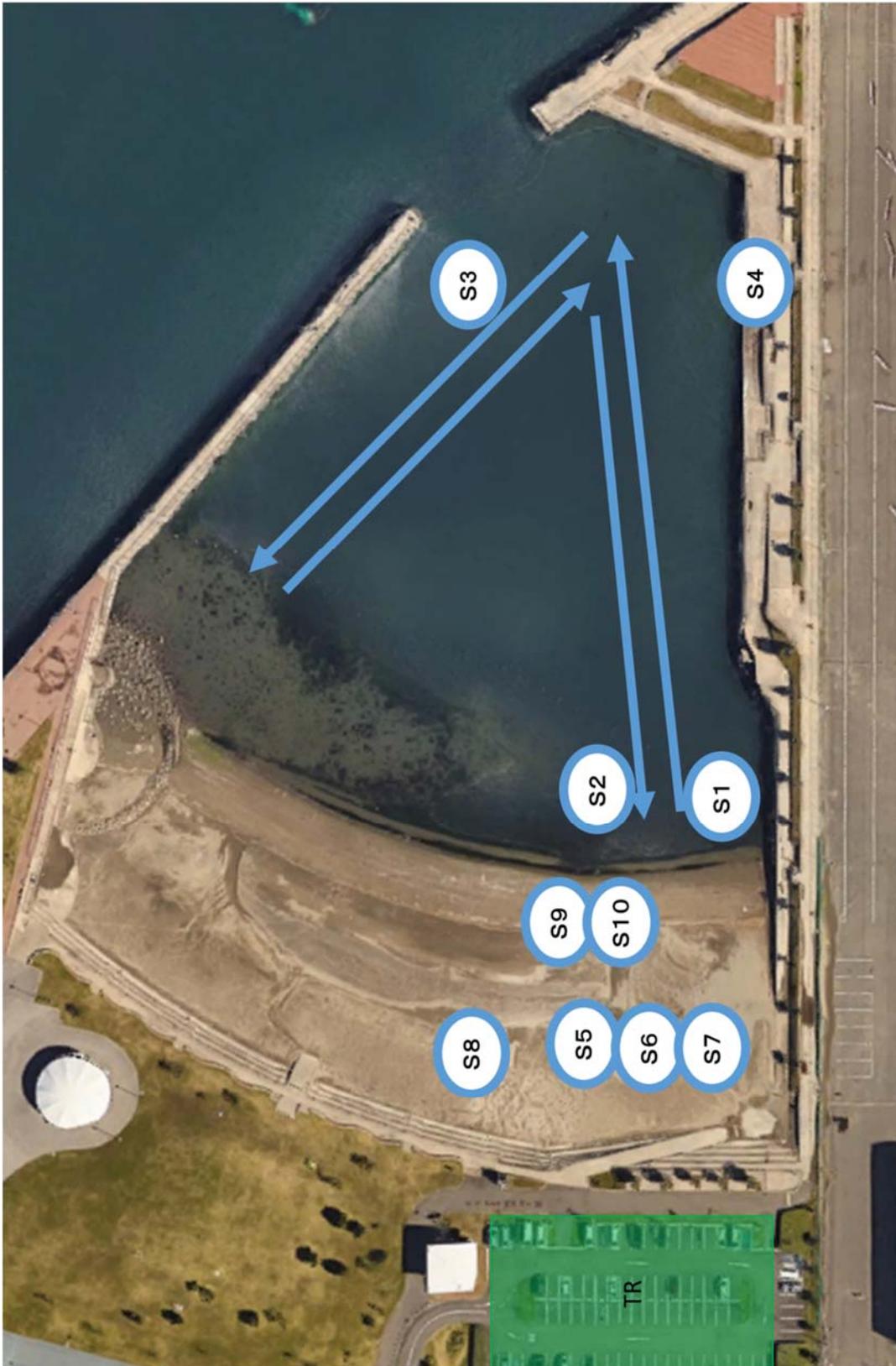
名前	ポジション	担当・役割	備考・備品
安藤 陽子	S 1	岸辺の水中待機、試泳コントロール、スターター	※ウェットスーツ着用
市来 竜哉	S 2		
大北 武志	S 5	アンクルバンド渡し、ボランティア指揮 ウェーブごとの整列、スタート位置への誘導	カウンター
加藤 正都	S 6		
三井 はるみ	S 7		
村山 義人	S 8	アンクルバンド管理、DNS・DNF とりまとめ	
本山 亮	S 9	輪ゴム回収	ゴム回収用買い物カゴ
	S 10		

ボランティア一覧および担当エリア

ポイント名	人数	担当・役割	指揮担当 T0
		アンクルバンド、輪ゴム渡し	榊 幸喜
		トランジションへの動線案内	榊 幸喜
		エイド	榊 幸喜

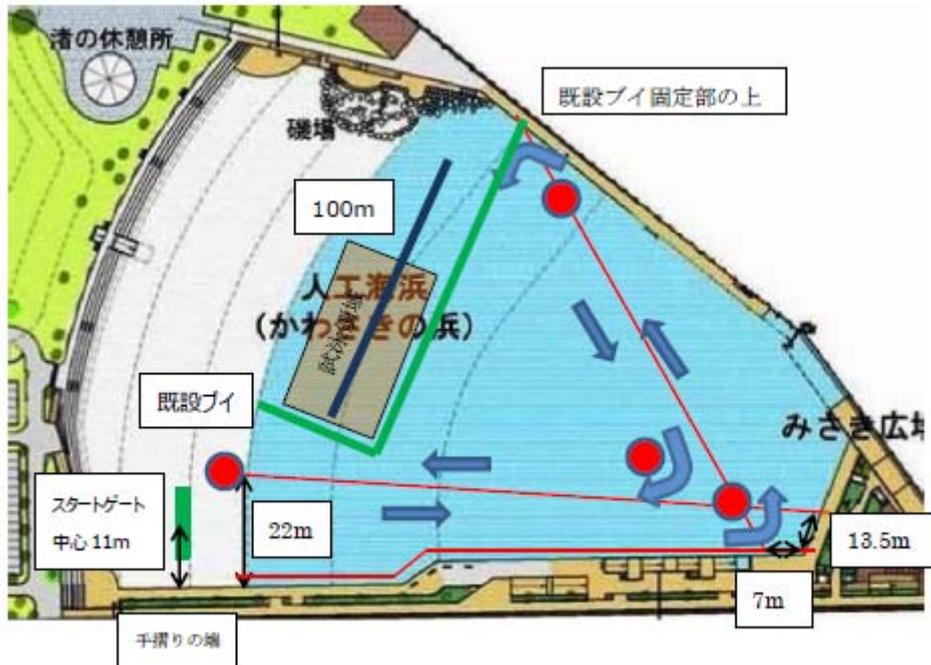
会場・コース

1. スタッフ配置図

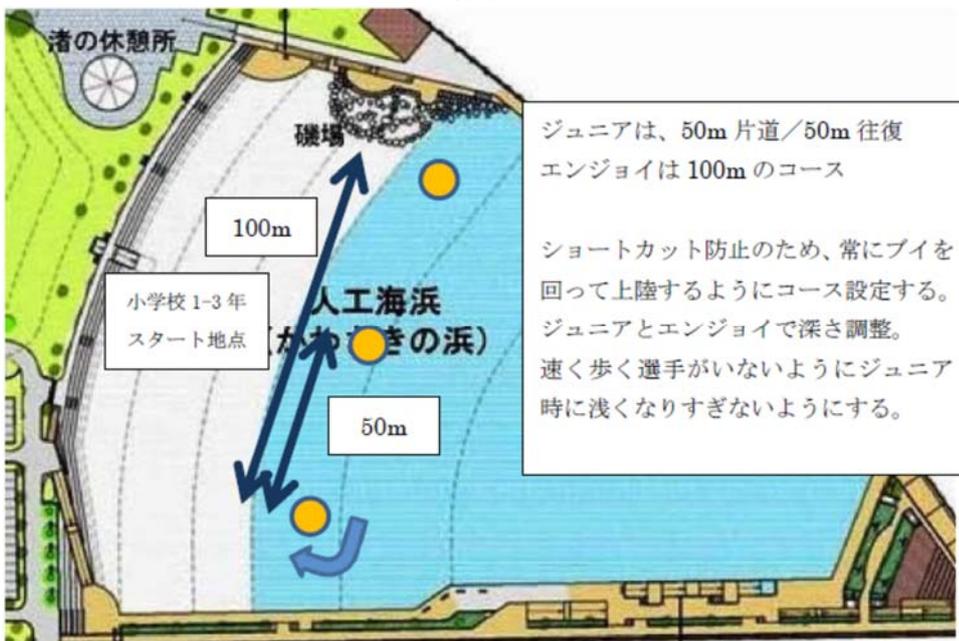


2. コース設営図

●スタートゲート、オリンピックディスタンスのブイ、コースロープの位置



●ジュニア、エンジョイのブイ設定



業務詳細・留意事項

1. 共通事項

- ・ コース設営
 - ・ 会場設営図に従ってスイム担当 T0 にて設営を行う
 - ・ スイムスタート会場近隣の砂浜に貝殻や浮遊ゴミがあるため、事前に竹箒等で清掃すること
 - ・ キッズ及びジュニアのコースづくりは極力、牡蠣・貝類が少ないエリアを選択すること
 - ・ チーフの指示により、コース設営転換作業を実施
- ・ 業務担当
 - ・ 各 T0 は主担当の業務を行う
 - ・ 各ポイントの近隣 T0 の業務を把握し、緊急時等にサポートできるように準備しておくこと
 - ・ スイムスキップはリレーのみ可

2. 業務別詳細および留意点

業務・ポイント名	担当者※	業務詳細・留意事項
水温計測・報告	榊 幸喜	8 : 15 計測、掲示板にて計測内容の報告を行う
アンクルバンド渡し	大北 武志 加藤 正都 三井 はるみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ カテゴリ別、レースナンバー順にアンクルバンドを並べる ・ 選手がレースナンバーを告げたら、レースナンバーを復唱しながら選手にも確認を促しながら渡す
選手整列・誘導	大北 武志 加藤 正都 三井 はるみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ ウェーブごとに選手を整列させる ・ スタート位置へ誘導する
DNS・DNF・スイムスキップ管理	村山 義人	<ul style="list-style-type: none"> ・ DNS を申告した選手のレースナンバーを聞き取り、スタートリストにチェックをする ・ スイム DNF（リタイア、タイムオーバー）選手からアンクルバンドを回収し、スタートリストにチェックをする ・ スイムスキップ（リレーのみ）を申告したチームのレースナンバーを聞き取り、スタートリストにチェックする。バイク担当選手にスタンバイ場所と時刻について説明する。 ・ DNS、DNF の選手リストをとりまとめ、大会本部に報告する。（報告時刻、報告方法）
競技説明	榊 幸喜	コース解説、スイムキャップ着用確認、アンクルバンド着用方法の説明、レースナンバーの確認、制限時刻

スタート前選手確認	安藤 陽子 市来 竜哉	・入水人数確認（カウンターでのチェック） ・アンクルバンド着用確認 ・スイムキャップ着用確認
スタート管理	ゲスト HR 榊 幸喜	スタート号砲 スタート時フライングチェック、（フライング発生時の判断、レースナンバーチェック、対応） スタート時刻報告
スイム競技審判	鈴木 陽輔	スイムショートカットのチェック、コースロープの取り扱いチェック
先頭選手スイムアップ報告	榊 幸喜	各ウェーブ先頭選手のスイムアップ時に報告
コースロープの位置替え	安藤 陽子 市来 竜哉	サブチーフの指示により、コース転換を行う

※担当者は、適宜分担する。

3. 救護を要する選手の対応

- 救護を要する選手は、ポイントS 4よりピックアップする（今大会では行なわない）
- 他は競技運営マニュアルに準じる

4. その他

- 最後尾付近の選手で、審判長が適宜判断する。（基本的にはできるだけ完走してもらう）
- 試泳方法については競技運営マニュアルを参照のこと
- 周回チェック用の輪ゴムは今大会よりアンクルバンド配布時に2本配布する
- リレーチームのみスイムスキップを認める。スキップスタートはT r